

近世史料

自昭和十九年九月  
至日 年十月

# 作戰命令錄

独立迫撃第六中队

防衛研修所戦史室

2500-11

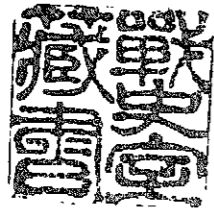
沖繩 187

昭和33年4月米政府返還旧日本軍記録文書等史料経歴票

防衛庁防衛研修所戦史室

表題	19.9~19.12 作戦命令録
整理番号	巴2500C-11
作成の部隊 庁・個人名等	独立進襲中隊
作成年月日	明治 大正 昭和 年 月 日作成 自 年 月 日 至 年 月 日 の間作成
史料 の 主内容	
備考 (本史料に 関する参考事項 を記す)	
史料 の 入手経路	本史料は大東亜戦争中米軍が直接戦場で鹵獲し、又は内地進駐後、陸海軍諸機関から押収した記録文書の一つであつて、長くワシントン郊外フランコニヤ等の記録保管所に保管されていたが、米国善省に対する日本政府の返還要求に応じ、昭和33年3月日本側に引渡され、同年4月横浜藩、同月10日指定保管責任庁たる防衛研修所戦史室の手に帰したものである。
責任者 氏名	防衛庁防衛研修所戦史室長 防衛庁事務官 西 浦 進

昭和33年5月整理



昭和十九年八月

軍事機密

作戰命令錄

26685

WDC#  
151757

球第一二四三九部隊

28816



九、一九三〇年

駐留部隊一般 殿  
聯絡事項

昭和十九年八月廿二日

福岡衛戍副官

駐留部隊一般 殿

一 軍紀風紀ノ振肅

- 1 敬禮ヲ特ニ嚴正ナラシム
- 2 服装ヲ端正ニシ態度ヲ嚴正ナラシム
- 3 外出ハ特別ノ場合ヲ除キ單獨外出ヲ許可セス  
指揮者ヲ附シ部隊ヲ以テ行動セシム
- 4 單獨外出者ニ在リテハ必ス外出證明書ヲ携行セシム
- 5 映畫館、劇場内ニ於ケル觀覽規定ヲ嚴守セシム

二 非常時ノ處置

空襲警報發令時又ハ他ノ非常災害等ニ際シテハ其ノ長ニ於テ應接ノ





射擊部隊		區分		編成		差出部隊		位置	
第一小隊	第一小隊	下書一、再一五	將校、下書二、三〇	下書二、三	下書一、再一五	23SA	SAB	前部隊	後部隊
								能橋	能橋

下達法  
配布法

印刷交付  
SAB  
23SA  
41MS  
31合

勝利九指命第七號  
勝利九輸送指揮官命令  
勝利九指命第六號第三項整備規定別紙第一  
對空射擊部隊編成左記通變更又

陸軍

勝利九指命第八號

勝利九指命送指揮官命令

於勝九指命 九月十九日 一五日

一 本職了務連絡、多、淀泊場鹿兒島支部、出頭、  
長瀬大尉、深山大尉、森山主計中尉、新山曹長  
隨行了命、

陸軍大尉 山本 段

二 本職出頭不在間、輸送指揮官代理了命、

陸軍主計少佐 鈴木 良一

同 中尉 島田 幸智

同 少尉 小澤 久五郎

經理部見習曹長 屋代 新太郎

事務連絡、多、貨物支廠、鹿兒島支廠、出頭了命、

		勝
	勝	
	勝	
	勝	
		勝
	勝	
		勝

勝利丸指命第九號

勝利丸輸送指揮官命令

十月一日 五時

一 勝利丸船内ニ疑似赤痢発生セルニ付、生水、飲料ヲ  
嚴禁ス

二 各部隊ハ現在ニ於ケル下痢患者全員受診セリ

	勝	
勝		勝
勝		勝
勝	勝	勝
勝		
勝		勝
	勝	勝



勝利丸指命第一號

勝利丸輸送指揮官命令

十月六日  
於勝利丸

一 第一八四九七部隊將校以下

一三六名 本六日鹿野

島港ニ於テ乘船ス

二

船内警備規定別紙第二屬表内務規定及同規定中食事時間割表ヲ別紙ニ通シ改正ス

勝利丸指命第二號

勝利丸輸送指揮官命令

十月七日 五〇〇  
於勝利丸

一 船内前部統制官 陸軍大尉

佐藤喜一郎

船内後部統制官 陸軍大尉

山本 段

警備副司令 陸軍中尉

坂上 省吾

輸送問頭書 職務ヲ命ス

二 勝利丸船内警備計畫及對潛(對空)見張要領

一部同警備規定別紙第二中見張員、射撃部隊

ヲ別紙ニ改ム

三 各部隊ハ左記人員ヲ鹿児島去港ト同時ニ概周長ノ許

ニ差出シ本航行間、援助ヲナスル

第九七〇

上等兵 西村 勲

二等兵 川上 徳次郎

上等兵 龜山 英治

第三一七頁物敷

- 一 年兵 佐藤修造
- 一 年兵 大原義雄
- 上 年兵 青野秀雄
- 一 年兵 友田勉

前項人員任務其他ニ関シテハ佐藤少尉区處ス

○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○

勝利丸指命書要略

勝利丸輸送指揮官命令

- 一 本朝敵機動部隊ハ沖繩及奄美大島ヲ空襲セリ
- 二 船團ハ進路ヲ北ニ変ヒ前進シテアリ
- 三 各部隊ハ對空對潜監視ニ遣

注意事項

- 一 水ノ使用ニ注意シ、特ニ節約スルコト
- 二 空襲ニ對スル周到ナル準備
- 三 後方機材搬送場合ニ於テハ大器ヲ以テ射撃ヲセ
- 四 退船準備ヲテシテおく

十勝十月一日

第三一員松旅

- 一等兵 佐藤修進
- 一等兵 大原義雄
- 上等兵 青野秀雄
- 一等兵 友田勉

前項人員任務其他二関シテハ往藤小針区處ス

○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○

勝利丸指命第肆號

勝利丸輸送指揮官命令

- 一 本朝敵機動部隊ハ沖繩及奄美大島ヲ空襲ス
- 二 船團ハ進路ヲ北ニ変ヒ前進シクアリ
- 三 各部隊ハ對空對潜監視ニ遣

注意事項

- 一 水ノ使用ニ注意シ、特に節約ス
- 二 空襲ニ對スル周到ニ準備
- 三 飛行機ヲ整備場合ニテハ大器ヲ以テ射撃ヲ行フ
- 四 退航準備ヲテシテおく

勝利丸指命第三號

勝利丸輸送指揮官命令

一 敵潜水艇船團左後方ニ在リ各部隊ハ對潜監視ヲ嚴重ニスル

十月十一日 一四〇三

於此所勝利丸船團

部隊ハ對潜監視



勝利丸指命第十四號

勝利丸輸送指揮官命令

十月十三日 一ニ〇〇  
於勝利丸船内

- 一 本船カドク内ニ入りクル以後ハ船内便所ヲ使用ヲ禁ス  
ドク内ニ汚物ヲ投棄スルコトヲ禁ス
- 二 各部隊將校以下輸送指揮官ノ許可ナク外出スルコトヲ禁ス  
ヲ禁ス 且シ体操ノ際ハ歩哨立哨ノ区域内ノ陸地ヲ使用スルコトヲ禁ス 兵ノ行動區域ハ便所迄ナス
- 三 各部隊將校以下輸送指揮官ノ許可ナク外出スルコトヲ禁ス  
ヲ禁ス 且シ体操ノ際ハ歩哨立哨ノ区域内ノ陸地ヲ使用スルコトヲ禁ス 兵ノ行動區域ハ便所迄ナス
- 四 次通リ増加衛兵ヲ差出シ 日直將校ノ指揮ニ入ラシムル

迫撃隊

工 一 兵 三

貨物廠

五 本船ハ一五三〇ヲ入添ヲ実施ス

入添順序左ノ如シ

自 一五三〇 後行大隊  
一六〇〇

自 一六〇〇 作息係敷  
 至 一六三〇 追出係 一  
 自 一七〇〇 追出係 一  
 入浴場 三池 入浴場  
 入浴後復時 服裝

引率者ハ将校ニシテ單獨ノ服装  
 其他ハ其儘ノ服装トス  
 貴重品ノ保管ニ関シテハ各隊ニ於テ之ガニナシテ

二下  
 街兵ノ入浴ハ第一回ニ差出中隊ニ於テ交代美施服務  
 セシム  
 増加街兵ハ最後トス



勝利丸指命第十五號

勝利丸輸送指揮官命令

十月十三日 一五〇〇

一 三池港淀泊間對空監視哨 服務時間ヲ自 一七〇〇  
 一八〇〇  
 一 船内内務衛兵ハ夜間控衛兵一名ヲ以テ對空  
 一 關シ警戒セシム

勝利丸指令第一六號

勝利丸輸送指揮官命令

十月十八日(鹿島) 勝利丸(鹿島)

一 勝利丸 出港ヲ延期セリ

依テ明十九日乗船部隊大部ノ徒等行直及水浴缸ニ洗濯ヲ西櫻島附

近ニ於テ實施セントス

ニヤンマ船ニ本船着船時刻ハ〇〇ノ豫定

三 乗船順序

第一回

5AB

5806

第二回

6LM9

命ノ百名

第三回

23SA

第四回

命ノ主力

四 服装ハ地下足袋巻脚絆帶剣トシ洗濯物一切ヲ携行スルニ  
五 食糧ハ五食ヲ携行スルニ細部ハ本隊山住村本隊事務長



檢定スベシ

六準備為各隊炊事要員トシ兵在田是各隊ニ宛携行セヨ。

近永瀬大尉、許差出スベシ

七、永瀬大尉ハ森山主計中尉、福島主計曹長並前項炊事兵ヲ指揮

シ先行シ準備ヲナスベシ

八、本船ト連絡ヲ左通是ム

歸船通報 本船船橋於テ國旗ヲ左右ニ振ル

九、歸船細部ニ關シハ現地ニ於テ永瀬大尉ヲシテ指示セシム

十、船内衛兵及對空監視並ニ同射擊部隊ニ差出ニ關シハ從前ノ通トシ

目直將校指揮スベシ

土予ハ本船ニ在リ

勝利丸輸送指揮官 堅山中佐

下送法

印刷交付

既先

5AB 1580B 23 SA 6LMS 會

和作第九號

新着部隊長會同實施件命令

昭和十九年十月二十六日第九七〇〇號

獨立輕迫撃隊中隊長殿

右題ノ件左記ノ通實施スルニ付出席スベシ

左記

十月二十七日。九。

一時刻

第九七〇〇部隊會議室

二場所

4LM 7LM 8LM 10LM 各部隊長

三出席者

100 佐田大尉

四携行品

教育指示 戰鬥計書 隨地糧食要領

五服裝

夜具配置 其他配布書類

六

單獨、服裝、給食服用

軍事機密

五砲司作命申第二號(球作命申第三七號)

# 第五砲兵隊命令

九月十日  
那霸

一左記部隊ヲ下ノ指揮下ニ入ラシメラル

左記

野戦重砲兵第一聯隊(第一大隊欠)

野戦重砲兵第二三聯隊

獨立臼砲第一聯隊

獨立重砲兵第百大隊(大隊欠)

中迫撃砲第五大隊

全

第六大隊

獨立迫撃砲第三乃至第十中隊

獨立工兵第六十六大隊

二軍砲兵隊ハ第三十二軍沖繩本島防衛戰  
關計畫ニ據リ中頭、島尻兩郡沿岸ニ  
上陸スル敵ニ對シ機ヲ逸セズ隨所ニ全力ヲ  
集結シ以テ其橋頭堡ヲ擊滅シ得ル如ク  
速カニ戰鬪ヲ準備セントス

戰鬪準備ノ重點方面ハ大山、那覇村、小滿

ヲ連ヌル沿岸並ニ沖繩北飛行場ノ西方又

北方沿岸トス

師團砲兵隊ノ區處權ハ球作命甲第三十五  
號ニ據ル

三軍砲兵諸部隊及師團砲兵隊ハ別ニ示ス  
第五砲兵隊陣地構築要領ニ據リ陣地ヲ  
構築シ攻撃ヲ準備スベシ

第五砲兵司令官 和田孝助

下達法 印刷交付

配布區分

1SA  
23SA  
100 EA  
111  
5MM  
6MM  
3-10 LMS  
66 P.  
42 A  
9 BA  
部内

32A  
9D  
12D  
24D

五砲司作命甲第三號(球作命甲第三十七號)

第五砲兵隊命令

九月十一日  
七〇〇  
那

一丸記部隊ヲ予ノ指揮下ニ入ラシメヨル

丸記

野戰重砲兵第一聯隊(第一大隊欠)

野戰重砲兵第二三聯隊

獨立臼砲第一聯隊

獨立重砲兵第百大隊(小隊欠)

中迫撃砲第五大隊

全

第六大隊

獨立迫撃砲第三乃至第十中隊

獨立工兵第六十六大隊

三軍砲兵隊八第三十二軍沖繩本島防衛戰  
闘計畫ニ據リ中頭、島尻西部沿岸ニ上陸  
スル敵ニ對シ機ヲ逸セテ隨所ニ全力ヲ集結シ以  
テ其橋頭堡ヲ擊滅シ得ル如ク速カニ戰闘ヲ  
準備セントス

戰闘準備ノ重點方面ハ大山那覇、糸満ヲ

連スル沿岸並ニ沖繩北飛行場西方及北方ニ  
岸トス

師團砲兵隊ノ區處權ハ球中命甲第三十五

號ニ據ル

三軍砲兵諸部隊及師團砲兵隊ハ別ニ示ス第五  
砲兵隊陣地構築要領ニ據リ陣地構築シ  
攻撃ヲ準備スベシ

第五砲兵司令部

和田孝助

下達法 印刷付

配中區下

32 A	12 A
9 D	20 S A
12 D	100 FeAS
62 D	17 B
24 D	5 M M
	6 M M
	10 L M B
	66 P B
	42 A
	95 A
	部
	次

第五砲兵隊

中

五砲司作命甲第二號別紙  
第五砲兵隊地構築要領

一方針

一 軍砲兵隊ハ軍防衛戰斗計畫ニ基キ且ツ關係兵團ノ戰斗ヲ密ニ協力シ得ル如ク陣地ヲ構築ス  
二 速ニ戰斗準備ヲ完成ス

二 一般要領

- 1 部隊ハ先ノ不時ノ敵砲爆撃手ニ對シ火砲彈藥主要器ヲ掩護ヲ爲レ得ル態執力ヲラシメ作業ヲ確實ス
- 2 作業ヲ三期ニ區分レ第一期作業ヲ三次ニ分テ實施ス  
第二期以後ノ作業ニ関レハ別ニ示ス
- 3 師團砲兵ニ関レハ軍砲兵全火力ノ統制上本要領ノ指示ニ基キ任務達成シ

得々位置並ニ作業要領ニ就テハ師團ニ於テ決定セラルル  
三陣地構築作業配當區分附屬及至第ニ如レ  
四 作業順守等ニ基テ基進下

一 第三次作業

イ 掩蔽所(洞窟陣地)以下兼テ(第一陣地)構築作業積  
所ヲ各部隊疎開宿營地附近第一陣地ニ構築シテ  
要陣地ヲ構築ス

ロ 第一陣地ノ構築

既到着部隊

未到着部隊到着後

完成

既成ノ概テ主力ヲ以テ主要ナル方向ニ向ヒ  
レ得ル程度ヲ云フ

九月末日

四週内

十日下日

完成ノ砲爆艇手下ニ在リテ任務ヲ完全ニ遂成  
得ル程度ヲ云フ

二 第二次作業

イ 部隊疎開地附近 第一陣地以外 第一案或

第二案ノ場合ニ於テ陣地ヲ構築ス

ロ 第二陣地ノ概成 十月十五日

完成 十月二十日

三 第三次作業

イ 第三案ノ場合ニ於テ陣地ヲ構築ス

ロ 第三陣地ノ概成 十月末日

完成 十一月末日

四 第二期作業ハ十二月以降ニ於テ第一期作業ノ補備  
増強及更ニ新ナル陣地構築ヲ實施ス

三 作業要領

- 1 火砲ハ洞窟式ト為シ洞窟トシテ適當ナル地形ヲキキ  
ハ掩砲所ヲ設ク
- 2 洞窟ヲ構築セル場合ニマレモ之ヲ掩砲所トシテ使用シ  
各方向ニ對シ射撃ヲ得ル野戰陣地ヲ附近ニ準備  
シ置クモノトス
- 3 白砲迫撃手砲ハ第一次放列附近ニ掩砲所ヲ設ク
- 4 白砲迫撃手砲ニ在リテハ第一期作業間ニ任務達成ニ必要  
ナル隊備放列陣地ヲ一中隊ニ就キ三中隊分ヲ構築シ  
他部隊ノ利用ニ供シ得ル如クス
- 5 觀測所ハ最小人員ニ限定シ其他ノ人員ハ附近ニテ  
掩護良好ナル構築物内ニ位置シ如クキ自然地形ノ象形  
ヲ變更セザル如クス

6 通信線ハ構築トシ無線機ノ掩護ニ著意ス（構成ニ關  
シハ別ニ示ス）

7 段列ハ上空遮蔽良好ナル位置ニ選定シ特ニ無線機  
事ノ設備ヲ為ス

8 彈藥ハ第一次陣地ニ1/2 第二次陣地ニ1/4 第三  
陣地ニ1/4ヲ基準トシテ分置シ置クモノトス 特ニ防  
火誘爆ニ關シ著意ス（地下彈藥庫構築迄ニ必  
ズ彈藥ノ保存ニ注意ス）

9 掩護層ハ尋常ナル時二十米以上 岩般ナル時五米以  
上トス

10 部隊機動ノ為メ交通路ニ關シテハ別ニ示ス

六 工兵隊

- 1 砲兵司令部戰斗指令所ノ構築
- 2 軍砲兵隊ノ陣地構築協力



- 3 陣地構築用木材伐採作業
- 4 各兵團ニテ構築ニ幹線道路ヨリ砲兵陣地ニ至ル間、道路中技術上困難ニ場所、構築及作業、指導
- 5 聖樓、構築、展望台構築
- 6 其他

附表第一  
天山以南那霸到ル間ニ重兵ヲ指シタル場合

100FeAs	23.SA	ISA(-I)	5AB	部隊 任務(射撃区域)	主ナル観測地帯	放列地帯	指
近ヲ射撃シ得ル如ク	伊祖、内間、安里以西ノ嘉敷(1046)附近	空島崎、那覇、大場、間、安波茶、経塚附近(天隊) 伊祖、内間、安里以西ノ嘉敷、大創高地附近(天隊)	重兵正南ノ全般觀察 經塚 仲間東方高地附近 嘉敷以南ノ地	中前兵團西正面ノ全般觀察 識名津嘉加山	SAノ左ノ地帯ニシテ、嘉敷、大創、南ヨリ大創附近(天隊)	経塚ノ人ノ中、大創ノ左ノ部ヲ用スルニ要シ、射撃シ得ル如ク	大創ノ左ノ部ヲ用スルニ要シ、射撃シ得ル如ク



考	備	9BA	42A	3-6LM	5MM	IMS
観測所へ隊大隊、位置ヲ示スルニシテ中隊観測所及補助観測所へ隊大隊、地味ニ選定スルコトヲ得ルニシテ補助観測所へ隊大隊他部隊主観測所内ニ投入シ行方ニ連絡ヲ毛兼ヌルコトヲ	内閣安監以西	城間一郡霸大端間伊相首里西方放列ニ近ク	大山一城間間、大山伊相東放列附近	大山一放港老川、間放列附近	城間一放港老川、間放列附近	城間一放港老川、間放列附近
陣地ハ勿クテ歩兵隊内ニ選定ス。奇ニ白蛇、追雲夜ハ符兼ノ隊及兵刀溢存ノ見地ニ基キテ少兵陣内ニアルヲ要ス。	城間一郡霸大端間伊相首里西方放列ニ近ク	首里西方放列ニ近ク	大山一城間間、大山伊相東放列附近	大山一放港老川、間放列附近	城間一放港老川、間放列附近	城間一放港老川、間放列附近
橋要欄中①②③ハ作業順序各第一次第二次第三次ヲ示ス。	内閣安監以西	首里西方放列ニ近ク	大山一城間間、大山伊相東放列附近	大山一放港老川、間放列附近	城間一放港老川、間放列附近	城間一放港老川、間放列附近

附表二

二那霸ヨリ糸満附近ニ重兵ヲ指向スル場合情況ニヨリ  
具志頭方向ヨリノ上陸ヲ考慮ス  
第二案

隊別	任務(射撃区域)	主観測所地帯	放列地帯	摘
JAB	重兵正面、全般觀察	高山嶺	伊覇一、首原一、志多伯ノ間	推定観測所 ① 観測所
ISA(-I)	具志頭一糸満南方高地、間、小緑一阿波根、國吉各東端、線以西ノ区域、要スル主力ヲ具志頭方向ニ	志多伯、保栄茂、座波附近ノ高地、具志頭ニ向フ場合ハ八重射撃	伊覇一、首原一、志多伯ノ間	① 伊覇西方ノ高地、南半部ハISA優先ス
23 SA	鏡水一翁長間、小緑一阿波根各東端ノ線以西ノ区域、要スル一大隊ヲ以テ具志頭方向ニ	武富、深栄茂附近ノ高地、具志頭方向ニ向フ場合ハ糸数高地	首里東端ヨリ大名附近ノ地、(一大隊)神里、反奇稻嶺間ノ地、(一大隊)	① 第一案陣地附近トス



考備	9BA	42A	7-10LM	3-6LM	6MM	5MM
第一案ニ同シ。	座喜味-古壁以西 要スル主カヲ以テ平安島 東方高地	座喜味-古壁以西 △220高地親志北方高 地	座喜味南側-都屋- 渡具知間 喜喜索-真喜田-長狭間	座喜味南側-都屋- 渡具知間 喜喜索-真喜田-長狭間	長狭-瀬名波-波平- 楚辺間 喜喜索-真喜田-長狭間	波平-都屋-都長知間 喜喜索-真喜田-長狭間
	放列附近 高地	放列附近 高地	放列附近 高地	放列附近 高地	放列附近 高地	放列附近 高地
	宇久良西北方及東南 方地区	△220南方地区 (現配置)	寺原附近地区	喜喜索北方地区	親志東方地区	喜喜索北方地区
	①ノ一		①ノ一 ②ノ二		①ノ一 ②ノ二	③

正砲司作命(五草一號)

軍砲兵隊命令

九月十二日 一六〇〇 儀

一 軍砲兵諸部隊ハ概テ展開準備態勢ノ配置ニ於テ

海邊ニシテス

二 各部隊尤記位直ニ當テスル細部位置及本部等用  
設高使用ニ建造物ノ配置區分ニ関シハ現地所在部隊  
ト相互協定スベシ

九 記

5AB 興儀隊舎

18A 東風平村伊弉志多但附近(國民學校)

但 235A 到着是現位置三部兵員之設置不

235A 聯隊本部及一大隊

南風原村兼成國民學校(現似為遺址)

一大隊

西原村(與那原北方)

1178 聯隊主力

浦添村仲西(國民學校)

一部

豈見城村高入端

浦添村(國民學校)

5MM 宜野灣村等岨附近

6MM 糸滿町(國民學校)

3x6LM 那霸東北方附近

66PS 小祿附近

AT 與儀附近

AT 與儀廠舎

下達法 印刷交付

配布已分

SA  
235A  
1MP  
100FeAs  
5MM  
6MM  
3x6LM  
66PS  
AT  
部  
双

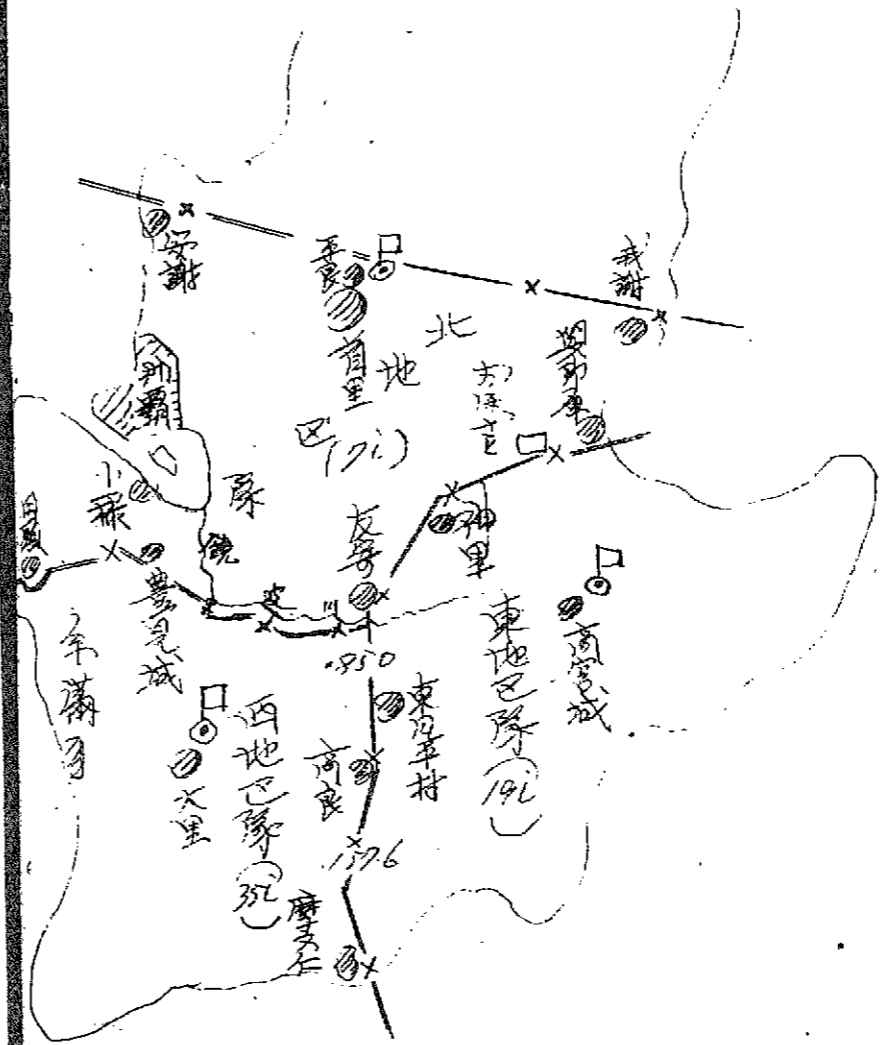
軍令 密  
黃菱作命申第三號(珠作命申第三號)

第九師團命令

九月十八日二〇〇  
里

一 師團ハ珠作命申第三號ニ據テ師團防衛擔  
任地域外ニ在ル軍直轄部隊及軍區處部隊中特ニ  
示サレタルモノ外防衛宿營、徵發、調練、木材伐  
採及交通整理ニ關シ區處セシメラル  
二 師團防衛擔任地域外ニ在ル前項區處下各部隊及  
師團直轄各部隊ハ前項各事項ニ關シ左記ニ依リ  
關係各地區隊長ノ區處ヲ受クベシ

正記



北地區隊長 21 長 (首里第三國民學校)  
 東地區隊長 196 長 (大里第三國民學校)  
 西地區隊長 322 長 (興座公會堂)

三予八首里師範學校 (在)  
 師團長 原 等

下達按 印刷交付  
 現本区分 32A, 26, 196, 35C 師團直轄部隊軍直轄部隊及區黨部隊



五砲司作命丙第三號

第五砲兵隊命令

於十月一日一六〇〇  
與儀

一球第九七〇。部隊及同指揮下部隊宿營地ヲ

別紙要圖、如夕定ム

下達法印刷交付

下達區分指揮下各部隊

中  
印  
文  
字  
符

連事機法

普天明

5MM本部  
在東部山脈  
中隊、掃、  
後、環、  
後、環、

國學院

# 指揮下部隊宿營要圖

(十月一日現在)

備考

八未到着部隊

之工事、關係之部、移動スルコトナリ

1MS本部  
波濤  
内閣

沼津 (民家)

首里  
3-6LM

真和志 (國民學校)

100FeA本部  
朝、長、堂、常、間、  
真、嘉、湖、神、里、  
田、野、員、津、嘉、山、庄、

5A8本部  
測地中隊工兵

小緑 7-10LM

66PS本部  
定、力、隊、  
冬、員、下、中、  
協、力、

津嘉山

1SA本部  
在東部山脈  
中隊、掃、  
後、環、  
後、環、

伊羅記念館  
東原平村

5MM本部  
波濤  
内閣

武富 (民家)

23SA  
與昭原  
元無塞司令部病院

場天

五山

軍事機密

五改司作命甲第六號

軍砲兵隊命令

一軍砲兵隊戰鬥準備ニ関スル計畫ニ左記

事項ヲ追加ス

第三防衛其一戰備間ノ態勢ノ第一條

乙號戰備ノ末項ニ

亦乙號戰備下令間空襲警戒解除セラルル時

ハ別命ヲク丙号戰備ニ移ルモノトス

十月十九日〇八〇〇

與儀